

一般社団法人日本らんちう協会  
第六十二回全国品評大会御案内

謹啓 仲秋の候、会員皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。  
いよいよ大会間近となり、ご丹精の魚も今や上々の出来栄へと存じます。  
さて、今年も繊細華麗な魚が妍を競い、棋界の最高位の座をかけて集う  
全国品評大会を西日本本部担当で左記の通り開催致します。  
つきましては、御自慢の優魚を多数ご披露戴き、来会者共々魅了させて  
戴ければこの上なく幸いと存じます。

何卒皆様お誘い合わせの上ご参会下さいますよう御案内申し上げます。

謹白

平成二十九年十月吉日

主 催 一般社団法人日本らんちう協会  
(理事長 宮本政和)  
後 援 文化庁・大阪府  
当番本部 西 日 本 本 部

記

日 時 平成二十九年十一月三日(文化の日) 晴雨不問  
花博記念公園鶴見区緑地内水の館ホール(ハナミズキホール)  
住所 大阪府大阪市鶴見区緑地公園二丁目一六一  
午 前 九 時 以 前  
受 付 会員は受付を済ませ弁当引換券を受け取る。  
出陳者は出陳申込票記入の上、出陳料を支払う。  
出陳料 一尾につき二千円。  
魚 受 付 出陳申込票と出陳魚写真を提示し受付をする。  
出陳魚数 親魚・式歳魚・当歳魚制限無し。  
特 別 表 彰 優等賞・壹等賞・式等賞の入賞者には、協会賞を付与する。  
立 行 司 三 部 門 東 大 関 文 部 科 学 大 臣 賞 西 大 関 大 阪 府 知 事 賞  
入 賞 大 阪 市 長 賞 取 締 一 大 阪 府 教 育 委 員 会 賞 取 締 二 大 阪 市 教 育 委 員 会 賞  
優 等 賞 東 西 大 関 立 行 司 取 締 一、二……………十五尾  
壹 等 賞 東 西 関 脇、東 西 小 結、勸 進 元 一、二……………十八尾  
式 等 賞 行 司 一、二、三、脇 行 司 一、二……………十五尾  
参 等 賞 幕 内 前 頭 東 西(親・式歳魚二十枚目 当歳魚三十枚目) 百四十尾  
優 等 魚 七 千 円 壹 等 魚 五 千 円 式 等 魚 参 千 円

役 魚 料

備 考

- 一、各位の魚は努めて保護致しますが、不測の事故には責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 一、審査は公正公平に行いますので、異議の申し立ては受け付けられません。ご了承下さい。
- 一、審査を終え、魚が展示されましたら、複写の役柄番付表に都道府県・氏名・コード番号を記載の上、一枚目を大会本部受付に提出して下さい。
- 一、魚の間違ひ防止の為、展示終了後も係員の指示があるまで、魚の搬出はできません。
- 一、写真を忘れた方は、一枚千円で受け付けております。ご利用下さい。
- 一、審査場内は、係員以外立入禁止です。

平成29年度一般社団法人日本らんちう協会主催  
第62回全国品評大会実施要項（募集要項）

1 趣旨

らんちうの種族保存

今日日本で広く飼育されている金魚の原種は、寛延元年1747年頃金魚全体が渡来したものである。

現在のらんちうで代表される物は、東京で発達し、先人、関係諸機関の適切な指導と生産流通に携わった方々の資質、体型の改良により今日の姿を見る事ができたものです。

この様にらんちうは、250年近く日本で飼育、改良、淘汰を重ねた結果の珠玉であり、観賞金魚の王で泳ぐ宝石とまで芸術性を高めて参りましたもので、日本古来の伝統継承金魚文化と言っても過言ではないと思います。

長年協会は、飼育技術及び諸情報の交換の場として全国大会を継続開催して参り、愛好者は年々増加の傾向です。しかし、良魚の作品が出ない昨今、益々会員同志の飼育技術及び諸情報の交換の場として、全国のらんちうを一堂に集め観識眼、審美眼の養成と共に一般愛好者に公開し、動物愛護精神の普及をはかる為に協会主催らんちう品評大会を下記のとおり実施するものです。

2 主催

一般社団法人日本らんちう協会

3 開催日

平成29年11月3日（文化の日）

4 開催場所

大阪府大阪市鶴見区緑地公園2番地の162

花博記念公園鶴見緑地内ハナミズキホール（水の館ホール）

5 審査種目

当歳魚の部・二歳魚の部・親魚の部の3部門

6 審査規則

一般社団法人日本らんちう協会大会規定及び審査規定並びに審査基準で行います。

7 参加資格

会員及び一般らんちう愛好家（協会会則第7条（5）に抵触しない者に限ります。）

8 参加申込み

① 当日も参加申込みは受け付けます。

② 事前の参加申込みについては電話及びファクスでお申込み下さい。詳細

は折り返しご連絡します。

受付期間：平成29年10月1日（木）10：00～10月31日（金）17：00

電 話：090-4154-3618

FAX 番号：0545-85-2834

受付時間：平日10：00～17：00

9 出陳魚数及び出陳料

出陳魚数は無制限。出陳料は一尾2,000円とします。

10 魚受付

11月3日 9：00～9：30 出品魚は必ず受付係に申し出願います。

11 審査委員会開催

9：00～9：20

12 審査時間

10：30～12：30 親魚、弐歳魚、当歳魚、各部同時に開始します。

13 写真撮影

13：00から入賞魚、全会員記念写真、役員記念写真等、写真班により適時撮影します。

14 一般公開

審査開始時より公開します。但し、審査場及び出陳魚保管場所については、係員以外の立ち入りを禁止します。

15 入賞魚種類

魚の入賞は各部門次の順位とします。（親魚の部、二歳魚の部、当歳魚の部）

優等賞 大 関（2尾） 立行司（1尾） 取 締（2尾）

1等賞 関 脇（2尾） 小 結（2尾） 勸進元（2尾）

2等賞 行 司（3尾） 脇行司（2尾）

3等賞 幕内前頭（140尾）

16 表彰式

15：00～16：30 優等賞、1等賞、2等賞の入賞には協会賞を付与し表彰します。尚、各部門の東大関には文部科学大臣賞、他に特別賞として大阪府知事賞、大阪市長賞、大阪府教育委員会賞、大阪市教育委員会賞を呈します。

17 申込みに関する問い合わせ先

一般社団法人日本らんちう協会事務局

電 話：090-4154-3618

受付時間：平日10：00～17：00

18 その他（注意事項）

① 各位の出品魚は努めて保護致しますが、不測の事故等は、その責を負い

かねますので、予めご了承ください。

- ② 当日は番付及び賞状等の事務が輻輳しますので、審査が終了し魚が展示されましたら、速やかに所有者名を記入して下さい。

展示終了後は、魚の間違いを防ぐため、各自持魚の確認を済ませ、魚を納めて頂き表彰式を行います。それまでは如何なる理由があっても魚の持ち出しは出来ませんのでご了承ください。

平成29年度一般社団法人日本らんちう協会主催  
第62回全国品評大会開催の大綱（事業概要）

1 行事等の名称

平成29年度一般社団法人日本らんちう協会主催第62回全国品評大会

2 主催団体名

一般社団法人日本らんちう協会

3 事務所所在地

東京都杉並区方南一丁目28番1号

一般社団法人日本らんちう協会

4 大会開催趣旨

らんちうの種族保存、質的向上を図り飼育の研究、観識の養成と日本伝統の金魚文化に貢献するとともに動物愛護精神の普及を図る為。

5 開催の具体的な理由

現在日本国内で広く鑑賞用に飼育されている金魚の原種は、寛延元年（1747年）頃、金魚として7種類位中国から渡来したものと古い文献、版画等で紹介されています。

また、「金魚の品種であるらんちうの歴史は古く、江戸時代後期頃から富裕層の好事の間で親しまれ、『らんちう』の姿で代表されるものは昭和初期に、東京の生産者や愛好者の限り無い美の追求の末、淘汰を重ねた結果現在の原型が出来たものです。爾来関係諸機関のご指導、生産者、愛好家等の手で種族保存されて参りました。

協会の前身は、昭和31年（1956年）に全国でらんちう飼育・普及伝承に努められた著名な方々のご尽力により立ち上げられた日本らんちう協会（任意団体）で、それまで各地でバラバラに開催されていた品評会を統一し全国大会を開催するに至った。

この後、平成23年（2011年）に、全国を東部本部・中部本部・西日本部に分割し、それまで各本部費用で持ち回り開催していた全国大会や増大した会員、運営資金を有する各本部を傘下とする協会（任意団体）を開かれた団体の在り方として公的に襟を正すという趣旨で社団法人化致しました。

然しながら、今日『らんちう』の飼育が、池から水槽にと変わり、飼育や金魚文化の継承の難しさを増す状態を憂いております。

協会としては、折角増えた会員の方々と金魚文化継承する為、且つ、法人化して充実し始めた協会を益々強固な組織にする為にも、文化庁後援名義使用をお認め頂き、全国各地より優秀銘魚を一堂に集め、潜在的な愛好者の眼に触れる機会を提供することにより『らんちう』の真髄『泳ぐ宝石』の魅力を十分味わって頂きたいと思っております。

また、会員の方々にはより多く飼育技術の情報を得る交流の場とし理想の魚創りといった永遠のテーマに挑戦する実践家を養成する為にも、この機会を生かし全国愛好層の拡大を目的と致します。

6 行事等の開催場所

① 開催日

平成29年11月3日（文化の日）

② 開催場所

大阪府大阪市鶴見区緑地公園2番地の162

花博記念公園鶴見緑地内ハナミズキホール（水の館ホール）

7 名義使用の種類

文化庁、大阪府後援名義

8 名義使用の対象

① 平成29年度一般社団法人日本らんちう協会主催第62回全国品評大会  
開催実施要項

② 平成29年度一般社団法人日本らんちう協会主催第62回全国品評大会  
開催案内状、招待者案内状

9 主たる利用者

国内外の『らんちう』愛好者、協会会員等